科目名: 基礎看護学実習Ⅱ	必修	2単位(90時間)
(Fundamentals of Nursing Ⅱ)		

履修年次/時期: 1年次 後期　　授業形態: 実習

主担当教員: 永井 朋子

主担当教員詳細: 実務経験 看護師5年7か月 看護基礎教育28年:実務経験より、看護実践において看護師が用いる思考プロセスが理解できるように実習を展開する。

担当教員名: 飯塚 雅子, 北村 容子

学修目的

健康に障害のある対象を受け持ち、対象の発達段階・発達課題、健康レベル、診断治療に応じた看護過程の展開を通して、対象に必要な看護を理解する。

関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP4,CP5,CP6　　科目No. KNp-138

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○: この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

1. 看護の対象を全人的に把握し、必要な看護計画が立案できる。
2. 患者の個別性をふまえた援助計画を立案し、日常生活援助が実施できる。
3. 看護専門職を目指すものとして自覚を持ち、責任と役割をもった行動をとることができる

授業概要

対象を身体的・精神的・社会的状況からアセスメントし、看護問題や目標を明確にする。看護計画立案、実施、評価に至る看護過程の一連を展開することで、根拠に基づいた看護を再認識する。

授業計画

(実習施設)
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院衣笠病院
公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立総合医療センター
公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立市民病院
社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院
(実習方法)
学生は1名の患者を受け持ち、患者とのコミュニケーション、生活援助技術の提供、看護師が行う診療補助技術の見学等を行う。患者への技術の実施は、実習指導者または担当教員と共に行う。
(実習期間)
基礎看護学実習Ⅱ要項を参照

評価方法

臨地実習100%
臨地実習に対するフィードバックは評価表に基づく採点、面接で行う。
受験停止の場合、補習実習は原則として行わない。

教科書

看護学概論、ヘルスアセスメント論、看護技術論Ⅰ～Ⅵ、看護過程、臨床看護総論で用いた教科書

参考書

当該実習施設に関連のある疾患の病態、治療、看護に関する参考書を各自準備しておく。

ｵﾌｨｽｱﾜｰ 連絡先

永井 朋子　3号館3階研究室　t.nagai@kdu.ac.jp　不在時はメールでお願いします
飯塚 雅子　3号館3階研究室　iizuka.masako@kdu.ac.jp　同上
北村 容子　3号館3階共同研究室　y.kitamura@kdu.ac.jp　同上